

第3回佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画策定委員会

日時：令和5年11月7日（火） 10：00～

場所：佐賀市立図書館大集会室

参加者：策定委員会委員

青木茂建築工房

佐賀市 図書館ほか関係職員

次第

1. 挨拶
2. 策定業務の進捗について
 - (1) 業務進捗と今後の見通しについて（図書館）
 - (2) 構想案について（青木茂建築工房）
3. 協議事項
 - (1) 蔵書数・開架率について
 - (2) 内外の出入口について
 - (3) 自動・セルフ化（デジタル化）について
 - (4) 民間活用（集客力・企画力）について
4. その他（図書館）

コンセプト: LIBRARY PARK(ライブラリー・パーク)

<誰もが自由にのびのびとすごす場所>

コンセプト

手段

誰もが

来たくなる

集客力、企画力
(民間活用)

図書館サービス
拡大

司書能力向上

時代変化・
多世代への対応

利用できる

バリアフリー化

設備の近代化

読書支援の
拡充

多文化・多分野
連携

自由に

出入りができる

出入口の
改善

駐車場の
利便性向上

公園・外周歩道
併用のしやすさ

アクセシビリティ
向上

使える

利用ルール変更

自動・セルフ化
(デジタル化)

柔軟性のある空間
(多目的利用)

屋外スペース
活用

のびのびと

ゆとりをもって
すごせる

デッドスペースの
解消

蔵書数・開架率

読書スペース
拡大

空調・照明の強化

安心してすごせる

雑音と静音

プライバシー

セキュリティ

防災

開架率の検証

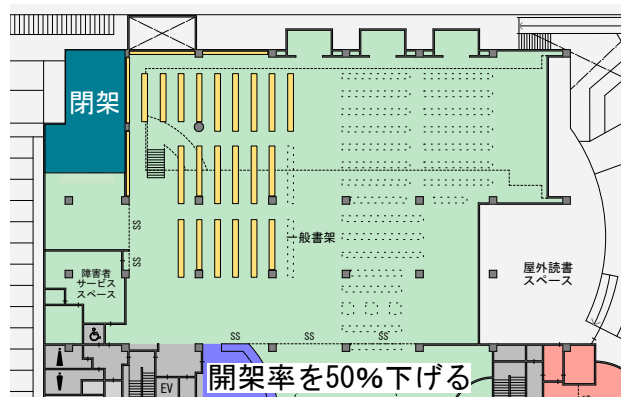
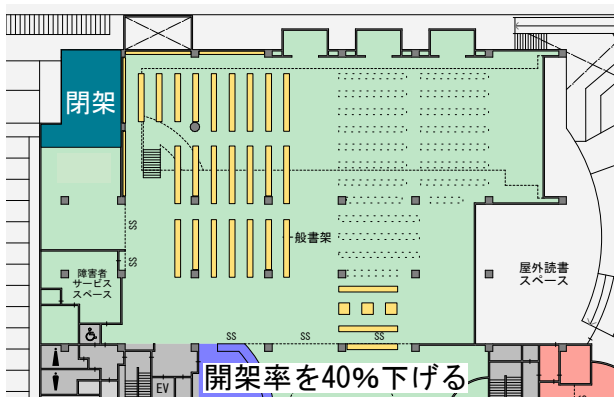
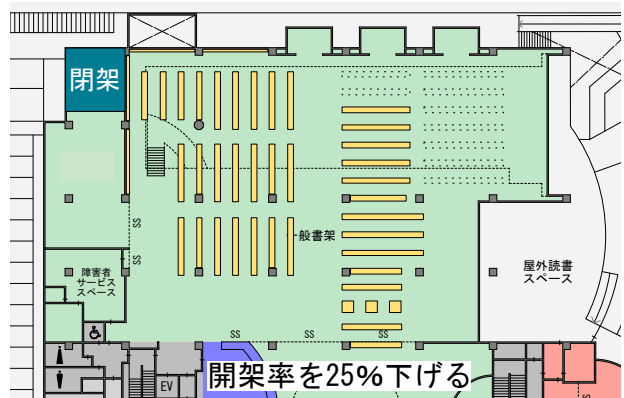
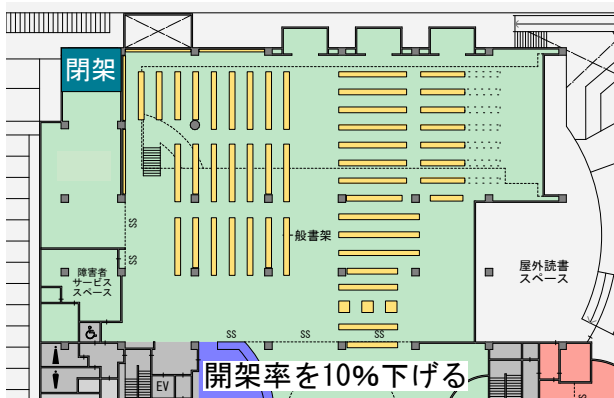
閉架書庫をつくる
場所と仮定する

現状の配架状況から
開架率を下げた状態を
イメージする

現在は開架率92%、閉架書架がほとんど無い状態のため、高密度に書籍が詰め込まれています。

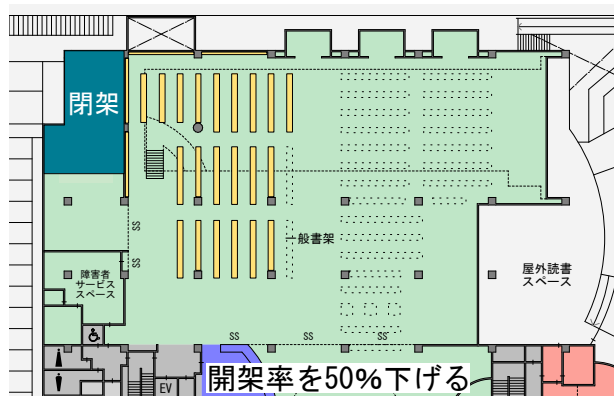
→ 開架率を25%程度減らしただけでは大きな変化は得られない

→ 開架率を大きく減らすと自由に考えられる空間が増える
閉架書庫は集密型のため、閉架率が増えても大きな影響はない

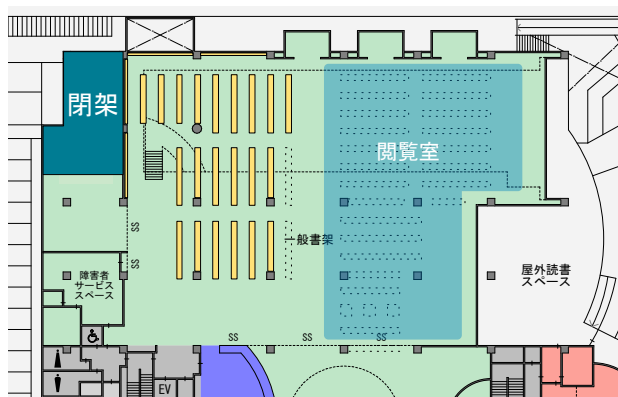




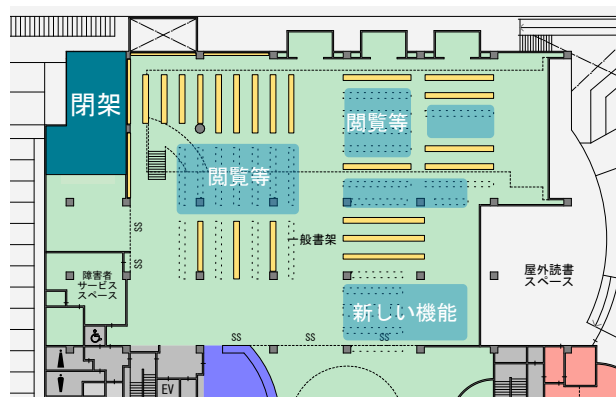
開架率の検証



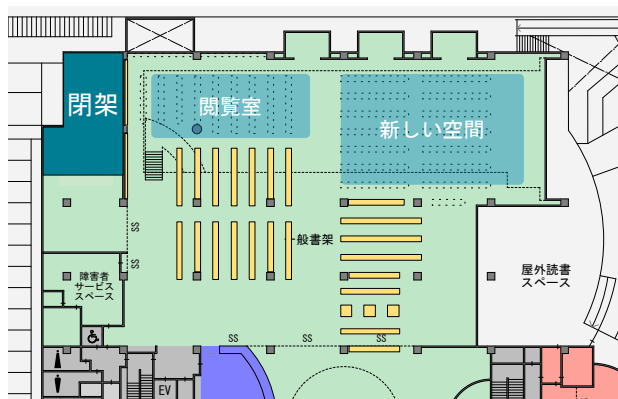
※比較検討用のため
既存のレイアウトに沿った
例示としています



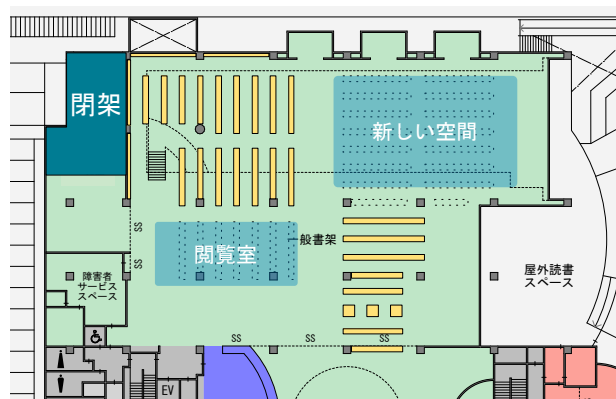
例 1 : 閲覧室をまとめて配置



例 2 : 色々な機能を分散



例 3 : 屋外とのつながりを意識した配置



例 4 : 屋外側と屋内側のバランスをとった配置

- 開架率を下げると、様々な空間の作り方の可能性が広がる
- 閉架書架が大きくなって空間への影響は小さい
- 開架には厳選された書籍が並ぶため、手に取りやすくなる

開架率を大幅に下げることによって、今後の計画の幅が広がり、
図書・付属機能それぞれに適した豊かな空間を検討しやすい

📖 屋外とのつながり（出入口）



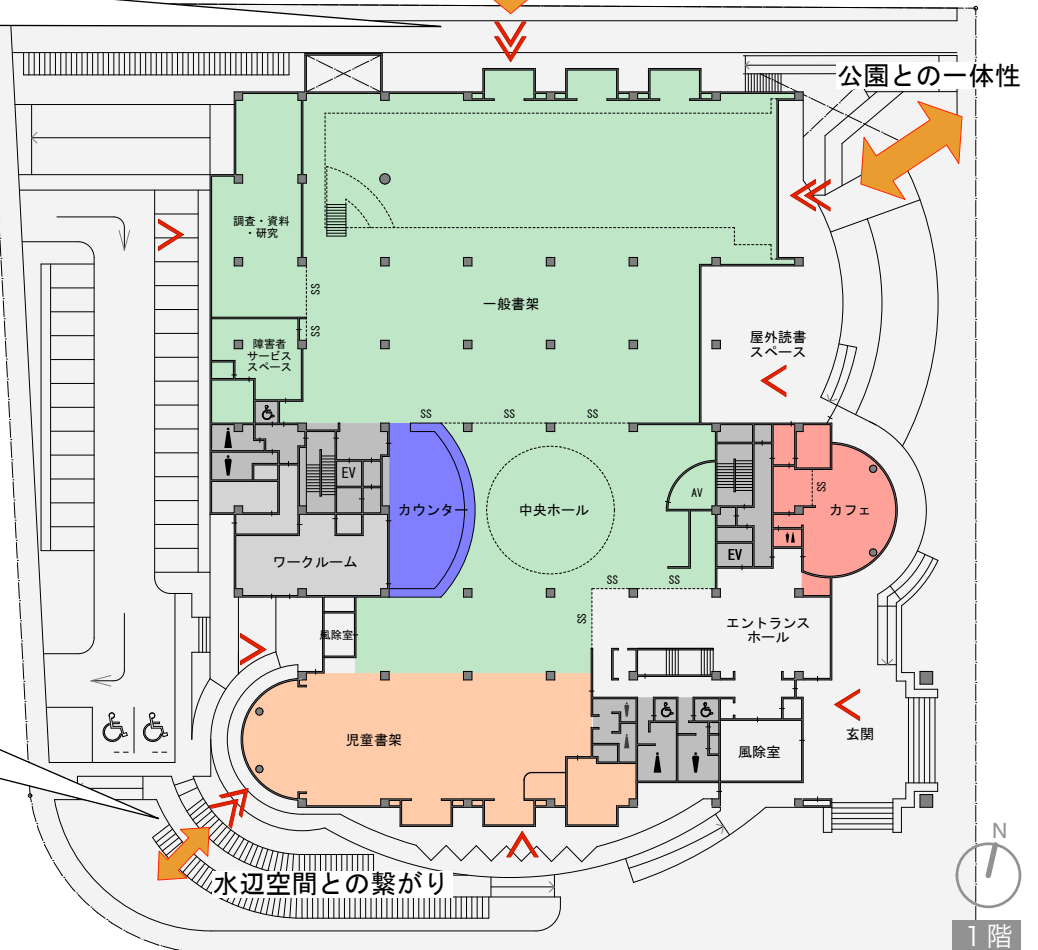
北側や公園側に出入口を設けることで、利便性や公園との一体性を向上させる

↑ ↓ 駐車場との行き来

公園との一体性

セルフ貸出機と出入口を各所に配置し、自由に屋外に出入りできる環境を整える

↑ ↓ 水辺空間との繋がり



I Cタグ導入による利用者側のメリット

- ・セルフ貸出が可能となり、人の目を気にせず気軽に本を借りることができる。
- ・セルフ貸出機を様々な箇所に配置することで、より気軽に屋外に出入りできる。



電子図書について

- ・著作権により、従来の図書をそのまま電子化することは難しい。
- ・電子図書サービスは、提供可能なコンテンツに制約があり、全ての図書をカバーできるものではない。
- ・電子図書サービスは、来館可能な方が本を読まずに電子図書だけを読むこととなり、本来の本を読む目的から逸脱してしまうため難しいが、障がい等により来館が難しい方への支援を目的として導入することは可能。

海南nobinos

【イベント例】（ノビノスホールにて）
 ・クリスマスリトリックコンサート
 ・“くるみ割り人形”と世界のクリスマス



図1 読書の森



図2 子どもライブラリー



図3 ノビノスパーク



図4 学習スペース

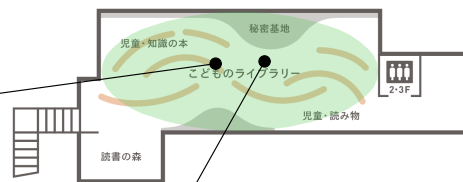


図8 3F平面図

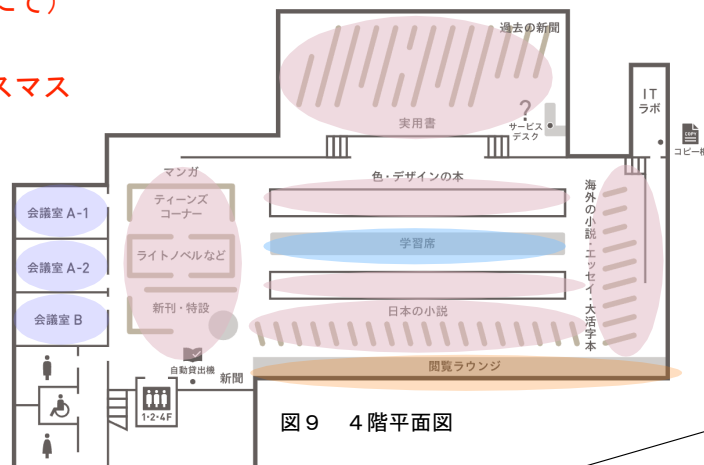


図9 4階平面図



図7 2F平面図



図5 2階広場



図6 多目的室

【メリット】

- ・既存の子ども図書館と一般図書館が一体となり、子ども図書館をメインとして建て替えた図書館であり、2、3階に児童書架、4階に一般図書を配置している
- ・一般書架のブラウジングコーナーは窓側に設置されており、書架に囲まれた場所に静かな学習室を配置している
- ・屋外で遊ぶためのグラウンドがあり、遊具や屋根の下で遊ぶことができる
- ・靴を脱いで、寝そべりながら本が読める子どもスペースや、乳幼児が遊べるノビノスパークなど、様々な仕掛けが用意された本を楽しみながら読むことができる空間
- ・多目的室にボルダリングスペースをや、テーブルを模した木製の卓球台になっている
- ・児童書架の棚は独自に独自に並べられた書架配置となっており、十進分類法の配架では、手に取ることはない本に出会うことができる
- ・指定管理方式の運営、管理であり、TRCに委託している

【デメリット】

- ・一般の利用者は子どもコーナーの中を通過して四階に移動する必要がある
- ・一般書架が小さい

【ピックアップポイント】

- ・託児室
- ・ボルダリングスペース
- ・地域発表会でも利用可能なホール
- ・乳幼児でも本が読めるノビノスパーク
- ・遊具にも家具にもなる机
- ・散策性の高い配架計画

物件概要	所在地	和歌山県	規模	3階建	開館時間 (旧→新)	10:00~18:00 → 09:00~20:00	蔵書数	141,000冊	書架の 分類法	4階：十進分類法 2.3階：独自分類	出 典	図1~9 https://kainan-nobinos.jp/
	都市の人口	海南市 51,110人	延床面積	7,850㎡	休館日 (旧→新)	毎週月 → 休みなし	一般書 児童書	63,000冊 77,000冊				
	建築年	2022年	専有面積	7,850㎡	単独/複合施設	単独施設 (図書館、書店、カフェ)	閉架書庫	1,000冊	管理体制	運営：指定管理 (TRC) 管理：指定管理 (TRC)		

豊橋市 まちなか図書館



図1 ブース



図2 ワークショップスペース

【イベント例】（ワークショップスペースにて）

- ・写真と言葉のワークショップ -まちなかで宝を探す-
- ・廃材で葉をつくろう！

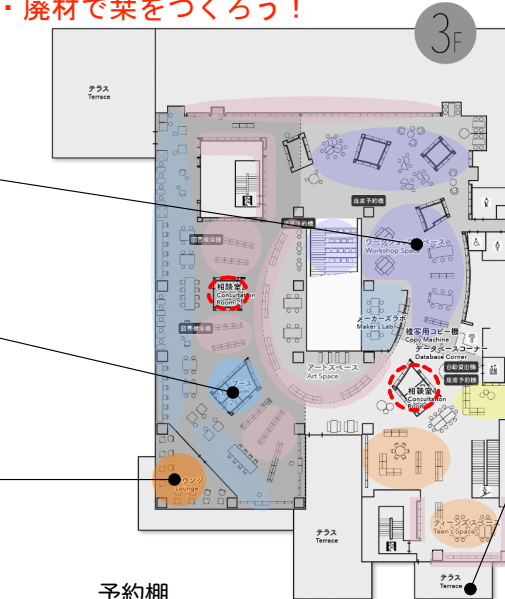


図3 テラス

【メリット】

- ・タワーマンションとの複合となっている図書館であり、イベントスペースや勉強スペースが十分に配置してあるため、住民が利用しやすい
- ・中央の大階段で月に数回のプレゼンテーションや、ワークショップスペースで多世代を巻き込んだ催しが行われている
- ・滞在型の図書館であるため、机やソファ等が多く、音を気にせず勉強するための個室ブースが設置されている
- ・静かに読書するためのラウンジが、ワークショップスペースから離れた場所に設置されており、ガラスで仕切られている
- ・3階のテラスでは本が読め、時にはワークショップスペースになる
- ・図書館運営をTRCへ業務委託しており、市がワークショップを企画する分業とした体制とすることで、直営の負担を減らしている

静かな読書スペース



予約棚

箱状の家具



図7 平面図



図4 中央ステップ

【ピックアップポイント】

- ・ブース（周囲の音を遮断する個室）
- ・段差状のイベントスペース
- ・ワークショップスペース
- ・専門科目が学べる場所（動画編集等）
- ・予約本コーナー（読みたい本を予約できる）



図6 カフェ



図5 パフォーマンススペース

物件概要	所在地	愛知県	規模	24階建 (内2フロア)	開館時間 (旧→新)	なし → 09:00~21:00	蔵書数	65,000冊	書架の分類法	十進分類法	出典 図1-7 https://www.library.toyohashi.aichi.jp/facility/machinaka/
	都市の人口	豊橋市 374,800人	延床面積	33,429㎡	休館日 (旧→新)	なし → 第4金曜	一般書 児童書	51,000冊 14,000冊	管理体制	図書館運営：業務委託(TRC) WS等企画：直営	
	建築年	2021年	専有面積	不明	単独/複合施設	複合施設 (図書館、スタジオ、集合住宅)	閉架書庫	0冊(閉架書庫なし)			

玉野市立図書館・中央公民館

【イベント例】

(ギャラリー、多目的室にて)

・冬のワークショップフェスタ

・柴田英昭氏 講演会・コラージュ川柳ワークショップ



図1 おはなしのへや



図2 料理実習室



図3 ママともコーナー



図4 研修室

【メリット】

- ・公民館機能と図書館が一体となった複合施設
- ・児童書架やおはなしの部屋は、研修室を介して一般書架と距離を設けている
- ・和室や研究室、料理実習室で、定期的なワークショップやヨガ教室を行っている
- ・十進分類法で配置されているため、初めての人でも本を探しやすい
- ・指定管理方式の運営、管理であり、TRCに委託している
- ・デジタルサイネージを使用した情報発信
- ・本の貸し出しは自動貸し出し機がメイン
- ・大型ショッピングモールの2階にあるため、日常使いしやすく、通いやすい
- ・外から見える料理教室があり、賑わいが見える

【デメリット】

- ・ブラウジングコーナーが少ない
- ・料理実習室が奥まった場所にあり、利用している光景がみえづらい

【ピックアップポイント】

- ・予約棚 (読みたい本を予約できる)
- ・デジタルサイネージ (今日のイベントや今後のスケジュールを表示)
- ・料理実習室

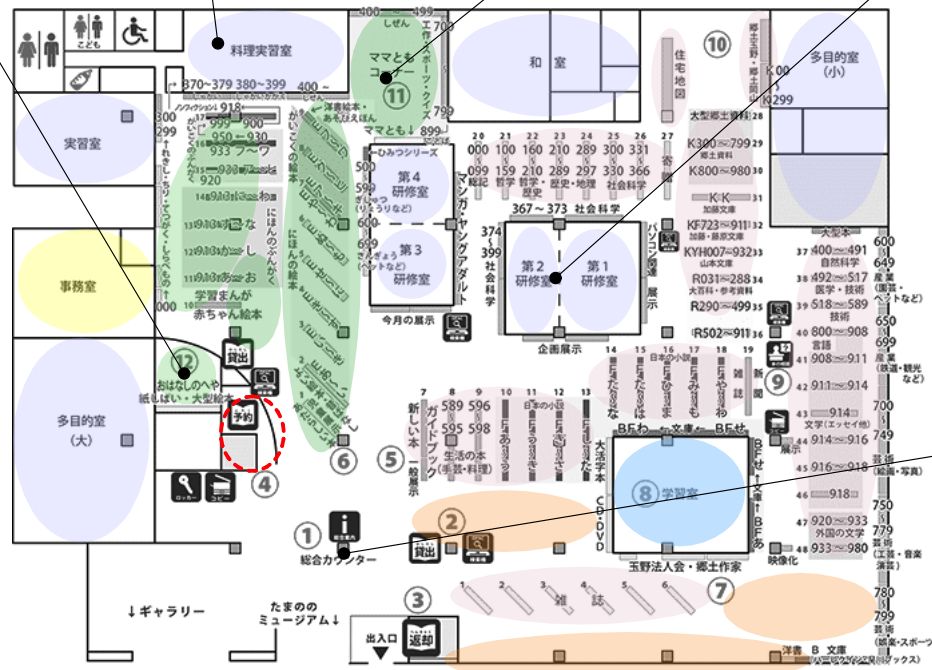


図7 平面図



図5 多目的室



図6 デジタルサイネージ

物件概要	所在地	岡山県	規模	4階建 (内1フロア)	開館時間 (旧→新)	10:00~18:00 → 09:00~21:00	蔵書数	220,000冊	書架の分類法	十進分類法	出典 図1~7 https://library.city.tamano.okayama.jp/
	都市の人口	玉野市 60,100人	延床面積	2,260㎡	休館日 (旧→新)	毎週月 → 毎週月	一般書	170,000冊	管理体制	運営：指定管理 (TRC) 管理：指定管理 (TRC)	
	建築年	2011年	専有面積	2,260㎡	単独/複合施設	単独施設 (図書館、書店、カフェ)	児童書	30,000冊			

都城市立図書館 Mallmall

【イベント例】 (Fashion Lab.、ティーンズスタジオにて)

- ・デジタルなものづくりをたのしもう！
- ・Enjoy day!! (図書館の道具を使う制作イベント)



図3 ティーンズスタジオ



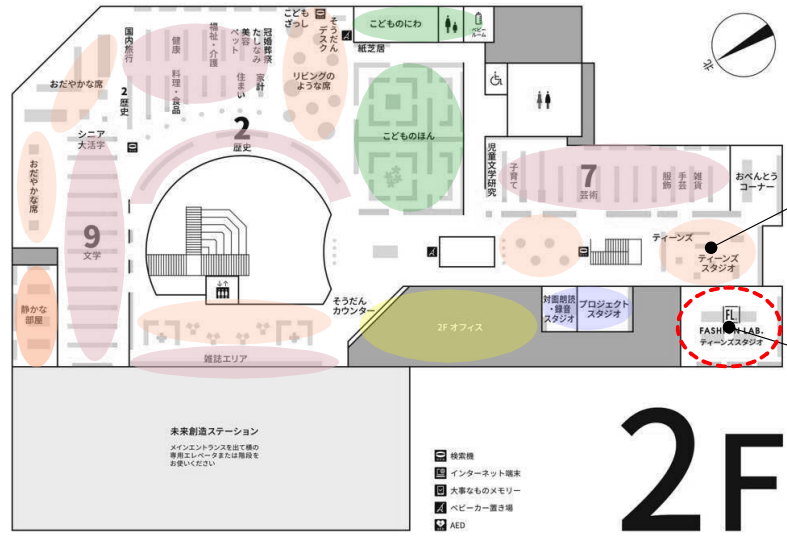
図4 おすすめの本が並ぶ木箱



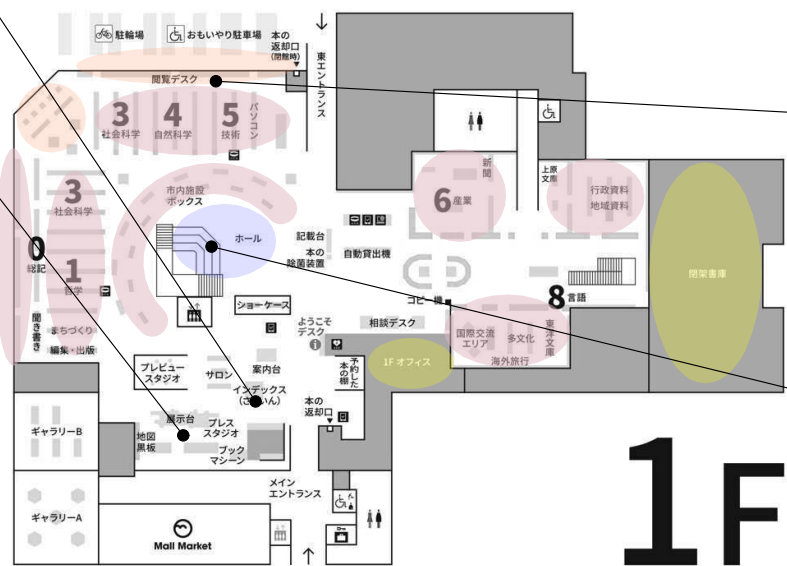
図5 長い雑誌棚



図6 広場



2F



1F

図7 平面図



図1 インデックス (索引)



図2 オブジェ

- 【メリット】
- ・ショッピングモールを図書館に改修した図書館
 - ・壁で囲われた静かな読書スペースは、一般書架の端に設置してある
 - ・館内にあるバーコードを読み込むことで、過去に読書した人の感想を見ることができる (大事なものメモリー)
 - ・十進分類法で配置されているため、初めての人でも本を探しやすい
 - ・自作の本を製本できるブックマシーンがある
 - ・図書館の中央にある広場は、講演やイベント等で使用できる
 - ・服やバッグ等を作成できるファブリケーションラボ
 - ・街や建物の歴史がわかるオブジェ
 - ・市と図書館周辺の地図が書かれた黒板で、人のお勧めや行った場所を共有できる
 - ・図書館内の索引が、QRコードで読み取れるようになっている

- 【ピックアップポイント】
- ・ファブリケーションラボ (服やバッグなどを作成できる)
 - ・大事なものメモリー (本を読んだ人の感想が読める)
 - ・ティーンズスタジオ (1)
 - ・県産材を使ったオブジェ
 - ・移動図書館車
 - ・巨大なマガジンウォール (160タイトルの雑誌が並べられている)

物件概要	所在地	宮崎県	規模	2階建	開館時間 (旧→新)	09:30~18:50 → 09:00~21:00	蔵書数	520,000冊	書架の分類法	十進分類法	出典	図6,7	http://mallmall.info/library.html
	都市の人口	都城市 165,000人	延床面積	8,046㎡	休館日 (旧→新)	毎週月曜、第1木曜 → なし	開架書	167,000冊					
	建築年	2018年	専有面積	8,046㎡	単独/複合施設	単独施設 (図書館)	児童書	143,000冊	管理体制	運営、管理：業務委託 (MALコンソーシアム)			

都城市立図書館 Mallmall



図8 屋外広場



図9 巨大な案内図



図10 動画を視聴できるプレビュースタジオ



図11 県産材でできた展示箱



図12 大事なもののメモリー



図13 静かな部屋



図14 展示スペース



図15 天井に幕が張られた広場

出典	図8-15	http://mallmall.info/library.html